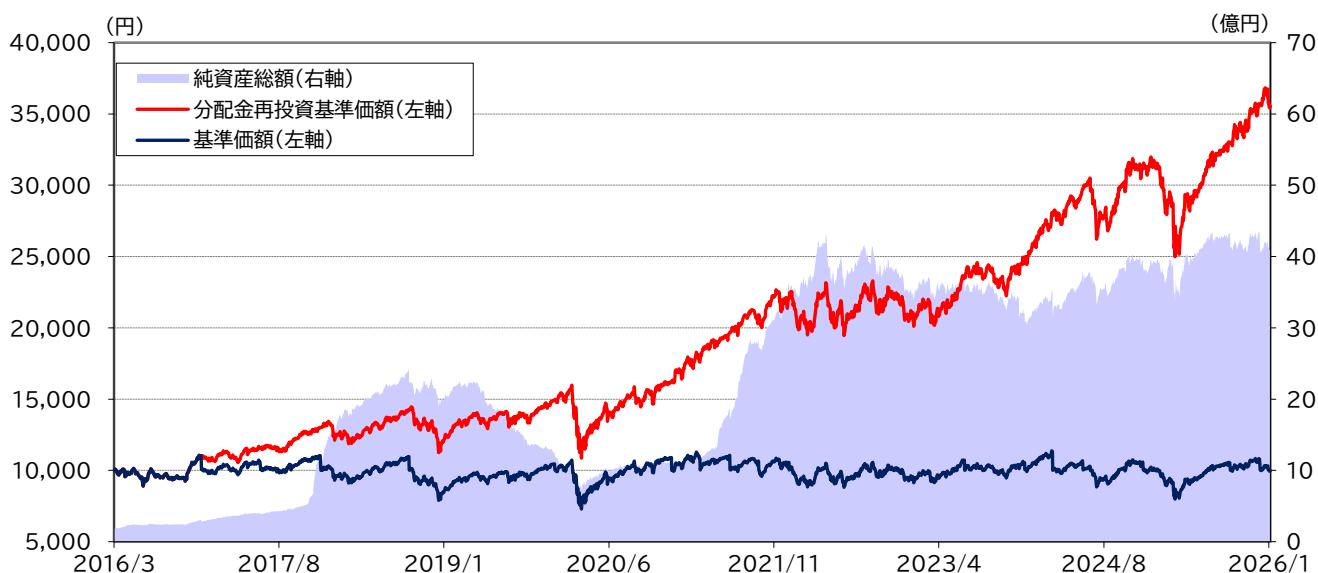


米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

## 設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率1.595%(税抜1.45%)の信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	9,981 円
純資産総額	41.0 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率						
	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	▲ 0.19%	4.28%	10.09%	12.55%	70.45%	255.60%
参考指標	▲ 0.87%	2.18%	13.35%	15.68%	113.20%	449.41%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。

※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。

※参考指標はS&P500トータルリターン指数[円換算後]です。

※参考指標の騰落率は、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメントが算出しております。

※参考指標は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて算出しております。

最近5期の分配金の推移	
2024/12/26	550 円
2025/3/26	0 円
2025/6/26	0 円
2025/9/26	550 円
2025/12/26	800 円
設定来合計	13,250 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

運用状況等によっては分配金額が変わること、或いは分配金が支払われない場合があります。

ポートフォリオ構成比率	
株式	94.3%
(内国内株式)	(0.0%)
(内外国株式)	(94.3%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	5.7%
マザーファンド組入比率	96.8%
組入銘柄数	117銘柄

※マザーファンドを通じた実質比率です  
(マザーファンドの組入比率を除く)。

※銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

## 米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))

追加型投信／海外／株式

## 米国連続増配成長株マザーファンドの状況(1)

組入上位10銘柄				
	銘柄名	セクター	比率	銘柄概要
1	GEベルノバ	資本財	2.3%	電力会社。発電、送電、制御、変換、蓄電分野の電力システムおよび関連サービスの設計、製造、提供に従事する。世界各地で事業を展開。
2	アルファベット	メディア・娯楽	2.0%	子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。
3	ロイヤル・カリビアン・クルーズ	消費者サービス	1.7%	グローバル・クルーズ会社。バケーション用クルーズ客船を運航する。低価格クルーズから豪華客船までさまざまなブランドのクルーズ・コースを提供する。
4	BWXテクノロジーズ	資本財	1.7%	原子力装置および核燃料を提供。民間の原子力発電産業向けには精密加工部品とサービスを提供する。技術、管理、用地の提供を通じて、政府による複合施設の運用と環境復旧活動を支援する。
5	MPマテリアルズ	素材	1.7%	統合型レアアース生産企業。鉱山採掘から精錬、金属化・永久磁石の製造まで、サプライチェーン全体をカバーする。輸送、エネルギー、ロボティクス、防衛、航空宇宙産業を支える製品を提供。
6	CHロビンソン・ワールドワイド	運輸	1.6%	物流会社。貨物、サプライチェーン、物流サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
7	ロス・ストアーズ	一般消費財・サービス流通・小売り	1.4%	廉価アパレルと家庭装飾品の2つのブランドストアを経営。ブランドおよびデザイナー衣料、アクセサリー、履物、家庭用品などを割引価格で提供する。米国で事業を展開。
8	IQVIAホールディングス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.4%	テクノロジー会社。テクノロジー・ソリューションと受託研究サービスに注力する。臨床開発ストラテジー、治療の専門知識、予測的・処方的分析、患者保持サービスなどのソリューションを幅広く手掛ける。世界の消費者ヘルスケア、バイオ医薬品、医療技術分野向けて事業を展開。
9	アローヘッド・ファーマシーティカルズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.4%	バイオテクノロジー会社。心血管、心血管代謝、中枢神経系、肺、高トリグリセリド血症疾患を治療する医薬品を開発する。米国、アイルランド、および英国で事業を展開。
10	マステック	資本財	1.4%	専門工事会社。多様な業界に対し、事業を展開する。公益事業と通信事業のインフラ建設、敷設、保守、改良を手掛ける。送配電、ワイドファーム、ソーラーファーム、再生可能エネルギー、天然ガスなどのインフラのほか、無線・有線通信事業にも注力。

※銘柄は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

外国銘柄の日本語表記は、QuickFactSet、Bloombergを参照しております。

米国連続増配成長株オープン(3ヶ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヶ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株マザーファンドの状況(2)

組入上位10セクター		
	セクター名	比率
1	公益事業	9.3%
2	資本財	8.2%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.2%
4	金融サービス	8.1%
5	ヘルスケア機器・サービス	7.6%
6	ソフトウェア・サービス	7.2%
7	素材	5.6%
8	食品・飲料・タバコ	5.3%
9	生活必需品流通・小売り	4.5%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.1%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

ファンドマネージャーのコメント

<投資環境と今後の見通し>

1月の米国株式市場は小幅に上昇しました。月初は、半導体関連株の上昇や新年入りに伴う新たな投資資金の流入への期待感から、上昇しました。中旬は下落しました。グリーンランドの領有を巡ってトランプ大統領が欧州に対して強硬な姿勢を示すと、米国株・ドル・米国債が同時に売られるトリプル安的な動きが見られました。下旬は上昇しました。トランプ大統領による欧州への強硬姿勢が和らいだことに加えて、トランプ大統領と北大西洋条約機構(NATO)のルッテ事務総長がグリーンランドなどに関する将来の合意の枠組み作りで折り合ったという見方などから、警戒感が和らぎました。発表された企業業績の内容も総じて堅調でした。

業種別では、エネルギー・素材などの上昇率が高く、市場をアウトパフォームしました。一方、金融や情報技術、ヘルスケアなどが月間でマイナスとなりました。

為替市場では、円は米ドルに対して上昇する円高の動きとなりました。このため、基準価額騰落率にマイナスに影響しました。

今後の米国株式市場は底堅い展開を予想します。当面は利下げが期待しづらい点が相場の重石になりそうです。しかし、今年の米国の企業業績は、トランプ減税が米国の景気を下支えする中で、関税引き上げの影響を受けた前年からの反動が加わり、前年よりも増益率が加速する見通しです。リスク要因としては、大幅に増加したAI投資の利益回収の遅れや、雇用市場が悪化する可能性などが挙げられます。

<運用経過と今後の運用方針>

1月の運用は、長期にわたって連続して増配している企業および中長期的な成長が期待される企業などの株式を組入れたポートフォリオで運用しました。投資行動としては、公益事業株や医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株、資本財株にウェイト付けしたポートフォリオで運用しました。個別には、投資助言を参考にソフトウェア・サービス株などを売却する一方、ヘルスケア機器サービス株などを新規に買付けました。また、電力インフラ関連の資本財株や再生可能エネルギー関連の素材株のウェイトを引上げました。

今後の運用方針は、ファンドの基本方針に基づき、りそなアセットマネジメント株式会社からの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行います。財務の健全性が高く、安定的なキャッシュフローの拡大が期待できる公益事業株や資本財株、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株のウェイト付けを継続します。また、独自に成長性を有する資本財株や一般消費財・サービス株のウェイト引上げを図る方針です。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

ファンド情報

設 定 日	2016年3月29日
償 還 日	2045年3月24日
決 算 日	毎年3月、6月、9月、12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの特色

**1** **長期にわたる米国の連続増配銘柄および米国の経済環境や社会構造の変化をとらえることで高い成長が期待できる銘柄に投資します。**

- 実際の運用は米国連続増配成長株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。

**2** **ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析を行い、各銘柄の流動性および市況動向等を勘案して行います。**

**3** **銘柄選択に関してりそなアセットマネジメント株式会社から投資助言を受けます。**

※投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無については、変更する場合があります。

**4** **株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。**

**5** **実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。**

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

●分配方針

年4回、3月、6月、9月および12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

- 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
- 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 投資リスク(1)

### ■ 基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

#### ● 主な変動要因

##### 株価変動リスク

株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。

##### 為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。

##### 信用リスク

有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。

#### ● その他の変動要因

##### 流動性リスク、カントリーリスク

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

投資リスク(2)

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンデの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンデ購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンデが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンデの基準価額が影響を受けることがあります。

米国連続増配成長株オープン(3ヶ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヶ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

## お申込みメモ

<b>購入単位</b>	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
<b>購入価額</b>	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
<b>購入代金</b>	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
<b>換金単位</b>	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
<b>換金価額</b>	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
<b>換金代金</b>	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
<b>申込締切時間</b>	原則として、購入・換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
<b>換金制限</b>	ありません。
<b>購入・換金 申込不可日</b>	以下に該当する日は、購入・換金申込の受付を行いません。 ・ニューヨークの取引所の休業日
<b>購入・換金 申込受付の 中止及び取消し</b>	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受け付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。
<b>信託期間</b>	2045年3月24日まで(2016年3月29日設定) ただし、投資者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。
<b>繰上償還</b>	受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
<b>決算日</b>	毎年3月、6月、9月、12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)
<b>収益分配</b>	年4回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。
<b>信託金の限度額</b>	5,000億円
<b>公告</b>	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 <a href="https://www.sbiokasan-am.co.jp">https://www.sbiokasan-am.co.jp</a>
<b>運用報告書</b>	3月、9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。

米国連続増配成長株オープン(3ヶ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヶ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

## ファンドの費用

## 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額 <b>購入時手数料率の上限は、3.3%(税抜3.0%)です。</b> 購入時手数料率は変更となる場合があります。 詳しくは販売会社にご確認下さい。	ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
信託財産留保額	<b>ありません。</b>	

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年率1.595%(税抜1.45%)		
	委託会社	年率0.70%(税抜)	委託した資金の運用の対価です。
	販売会社	年率0.70%(税抜)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.05%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

その他費用・手数料	監査費用:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
	有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。 ※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料(監査費用を除きます。)はその都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

## 委託会社および関係法人の概況

委 託 会 社 SBI岡三アセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受 託 会 社 株式会社りそな銀行 (ファンドの財産の保管及び管理を行います。)

米国連続増配成長株オープン(3ヶ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヶ月決算型))  
追加型投信／海外／株式

## 販売会社について

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

## 加入協会

商号	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		○
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

委託会社  
お問い合わせ先

電話番号  
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ  
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

## ご注意

- 本資料はSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。投資信託説明書(交付目論見書)の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。